

2015/12/2

曲阜師範大学
交換留学現地レポート

国際文化学科 3年 13011006 伊東万里子

アジアで広がる結婚写真の前撮り文化

中国では、結婚式当日よりも、結婚式前の記念写真撮影が重要イベントとして、近年流行している。中国の観光地など、景色の綺麗な場所に一度行けば、結婚披露宴で着るような洋風ドレスやスーツを身にまとったカップルが、多くのカメラマンや照明、ヘアメイクなどに囲まれながら撮影されている場面をよく目にする。私が青島の観光地となっている教会に観光で行ったとき、そこで4組ほどのカップルがそれぞれカメラマンなどの一群に囲まれ、白や赤のドレス、スーツを着て、様々なポーズを取りながら撮影が行われているのを見た【写真1、2（赤丸部分が前撮りをしているカップル一行）】。一か所で何組ものカップルが、前撮り写真を撮っているという光景を目にすることが出来た。

【写真1】



【写真2】



このような場面を実際台湾でも目にした。この文化は中華圏に限らず、韓国やシンガポール、ベトナムでも近年流行しているようだ。そこで今回は、アジアで広がる「結婚写真の前撮り文化」について、以下の3点で考察する。

- 1、結婚写真の前撮り文化の現状
- 2、結婚写真の前撮り文化の広がり理由

3、結婚写真の前撮り文化は日本でも流行するのか

1、結婚写真の前撮り文化の現状

近年、結婚写真の前撮りは「フォトウェディング」とも呼ばれ、中国、台湾、韓国、シンガポール、ベトナムなどのアジア圏の若いカップルを中心に人気である。今回は中国での広がりについてまとめてみる。

中国の結婚式に参加すると、当然のように「結婚写真」が大きく飾ってある。新郎新婦が映った大きな写真が結婚式場の看板として式場の入り口に使われる。また、ホテルのロビー、階段、式場の中にまで広がる。巨大なポスターに映っているカップルは、芸能人のような完璧な顔、格好をしている。写真の内容は、披露宴で着るような様式ドレスのみだけでなく、普段着のようなカジュアルな格好をして、二人でハートをつくったり、ポーズを決めたりして写真を撮る。このように、結婚写真の前撮りを撮ることが一種の文化となるほど広がっている。

中国の『インターネットプラス』によると、2014年の中国の婚約式、ウェディングドレス、前撮り、結婚式等の結婚業界の市場規模は、8000億人民元（約16兆円）を超えている【注1】。これは日本の約8倍とも言われている。中国でも少子化が進んでいるが、結婚するカップルの数は年間1000万組以上である。一人っ子で家族から結婚資金をもらえることや、結婚業界の商品も多様化、高級化しており、結婚市場は今後も拡大すると予想できる。また、欧米や日本のビザが緩和されたことに伴い、エーゲ海やパリ、沖縄などで、「プレ新婚旅行」を兼ねた特別な結婚写真を撮る「海外前撮り」が急増している【注1】。日本では結婚式後に新婚旅行をするのが一般的と言えるが、中国では結婚式前に、海外や二人の思い出の場所、綺麗な景色の前などで結婚写真を前撮りし、ついでにプレ新婚旅行をしておもうという、結婚を理由に旅行へ行ったり買い物をしたりするのが流行だ。最近では、東京タワーやスカイツリーの前で結婚式写真を撮っているカップルもいるという。もちろん、その全ては中国人カップルである。

2、結婚写真の前撮り文化の広がり理由

では、なぜ結婚写真の前撮りは、こんなにも中国で広がりを見せているのだろうか。

まず初めに、中国の離婚率から考える。民生部が発表した資料によると2014年の全国の離婚件数は363万7000件と、前年比で3.9%増加した。人口1000人当たりの離婚件数を示す粗離婚率で見ると、02年の0.9から14年の2.7まで、3倍に増えている。と、政府系メディアが伝えた【注2】。北京や天津などの大都市では、結婚したカップルの3割以上が離婚しているという。年齢別で多いのが30歳から40歳で、全体の約7割以上を占める。

このように、離婚率が高いため、ある程度離婚を想定して結婚を考えるのが中国人であり、特に中国人女性である。そのため、結婚イベントだけが楽しみになるのも自然なことだ。女性主導な「結婚イベント」は、女性の意見の上で成り立っている。女性が自分の人生最高の

瞬間を形に残し、「結婚する時の私は、人生で一番きれいな頃だから、美しく撮りたい」という気持ちも非常に強くなる。結婚後離婚するかもしれないので、今のこの時だけでも夢を見たい。そのため大金をかけてでも前撮りをするのと考えられる。

次に、中国の「面子文化」も原因として考えられる。中国での結婚、特に「流れ作業化」された前撮りや結婚式は、カップルよりも、親のためという側面もあるようだ。つまり当人たちの面子というより、親たちの面子が大きく関係している。シンプルなカップル写真を飾ったり、普通のホテルで結婚式を挙げたりすると、貧乏くさくて誠意がないと思われる。「あの人は息子の結婚式なのに、ちゃんと用意していない。お嫁さんと仲が悪いのかしら」などと言われるのは非常に困る。そのため、「ダサイ」と本人たちや周りに思われようと、ゴージャスに加工した前撮りを新郎新婦である子どもに撮らせる。「面子を立てる」ためには、それこそ盛大さを競うことになる。そのため、海外旅行に行ったという事実を写真に撮り、多くの人に見せることで面子を保つのだろう。そこに上手く入り込んだのが「結婚イベント業界」だと言える。

3、結婚写真の前撮り文化は日本でも流行するのか

私個人の意見では、日本でも結婚写真前撮りは広がりを見せる可能性が大いにあると考える。

日本で前撮りをするという時は、成人式や学校の入学式、七五三などが一般的だ。日本でも儀式は違っても、現在前撮り文化は十分広がっている。そこから結婚式の前撮り文化も受け入れやすいことだろう。すでにいくつかの企業が日本の結婚式でも「フォトウエディング」を取り入れているプランがある。

さらに、晩婚化が進み、結婚が人生の一大イベントであるという価値が上がっている。カップルは大金を出すのも惜しまなくなるだろう。また、年齢が上がると予算が上がってもある程度経済的な余裕は増えるだろう。

そのような点から、日本でも結婚写真前撮り文化は、今より広がることだろう。

【注】

1、東洋経済「中国の女性が結婚写真に世界一こだわる理由・沖縄などで撮影する中国人カップルが急増」2015年08月15日（2015/11/27 閲覧）

<http://toyokeizai.net/articles/-/80483>

2、newsclip.be 「中国の離婚率が10年余りで3倍に急上昇、大都市では3割超も」2015年7月24日(金)（2015/12/2 閲覧）

<http://www.newsclip.be/article/2015/07/24/26351.html>

<参考文献>

1、「結婚考：中国—結婚万端」2015/12/2 閲覧

<http://www.daito.ac.jp/gakubu/kokusai/asia21/mariage/china1.html>

2、新華ニュース「中国・上海市 平均初婚年齢4年振りに下降、離婚者数は5年振りの減少」(2015/12/2 閲覧)

<http://www.xinhuaaxia.jp/social/64688>

3、LivedoorNews「中国で未婚率が高まる 「私は白雪姫」と勘違いしている女性も」(2015/12/2 閲覧)

<http://news.livedoor.com/article/detail/9675225/>

4、日経ビジネス「日本の婚礼市場は半減！～ワタベ、ゼクシィが知恵を絞って追いかける中国の「80後」」(2015/12/2 閲覧)

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/world/20080703/164411/>

5、ラヴィ・ファクトリー ENGLISH/CHINESE 結婚式の前撮り、写真だけの結婚式(フォトウェディング・結婚写真)で年間3万組の撮影実績(2015/12/2 閲覧)

<http://www.la-viephoto.com/>